

## 近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80

長善所記

漁方  
柳子存  
夫  
後

漁場

想  
田井村

右記漁方夫東村亦指後人

一村日在野山海上  
廣文化美 漢方  
沖積文 通子里漢

高下海 野山海 遠也 坊所

馬狗會 穢多集 志 見 務 志 務

多烟 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

直例 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

右三新 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

福場 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

福場 丁 日 志 志 志 志 志 志 志 志

志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

日 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

日 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

右通 志 志 志 志 志 志 志 志 志 志

一村日在野山海

廣文北邊 河濱より沖に渡りて通子里に渡

二村下流より一村に海に遠くは場所

三村向會務の理會集事志しり見持てる所

四村は海に近き所なり故に船乗りは多し

五村は海に遠き所なり故に船乗りは少し

六村は海に遠き所なり故に船乗りは少し

七村は海に遠き所なり故に船乗りは少し

八村は海に遠き所なり故に船乗りは少し

九村は海に遠き所なり故に船乗りは少し

十日は海に遠き所なり故に船乗りは少し

十一日は海に遠き所なり故に船乗りは少し

十二日は海に遠き所なり故に船乗りは少し

西尾川河より下りて新庄へ企揚へ要田

今下流河より沙積多し省はるべし以て其新

河を夫より村後流道に引て梅場へ下り

沖上河洲建合差を引て要新に引て其より西村

を引て其より西に引て止す其積り意好

りしに其より西に引て其地より中より西村

地を引て其より西に引て其地より西に引

て其地より西に引て其地より西に引

東河合に引て其地より西に引て其地より西に引

引て其地より西に引て其地より西に引

其地より西に引て其地より西に引

其地より西に引て其地より西に引



西尾川河川に於て、理石を新築し、企城、栗田

河川に於て、沙石を採り、省く色を以て、去る所

に、河川を夫村に於て、遠く、梅場、に、

沖之河川に於て、去る所、に、

河川に於て、去る所、に、

河川に於て、去る所、に、

地を以て、自ら、河川に於て、

河川に於て、去る所、に、

河川に於て、去る所、に、

河川に於て、去る所、に、

河川に於て、去る所、に、

河川に於て、去る所、に、

江戸町村の月連後下住候中 取立書

後文 坊主新住候より村の御書

江戸町村の御書

江戸町村の御書

江戸町村の御書

江戸町村の御書

江戸町村の御書

江戸町

江戸町

天多村御書

御書

リ

御書

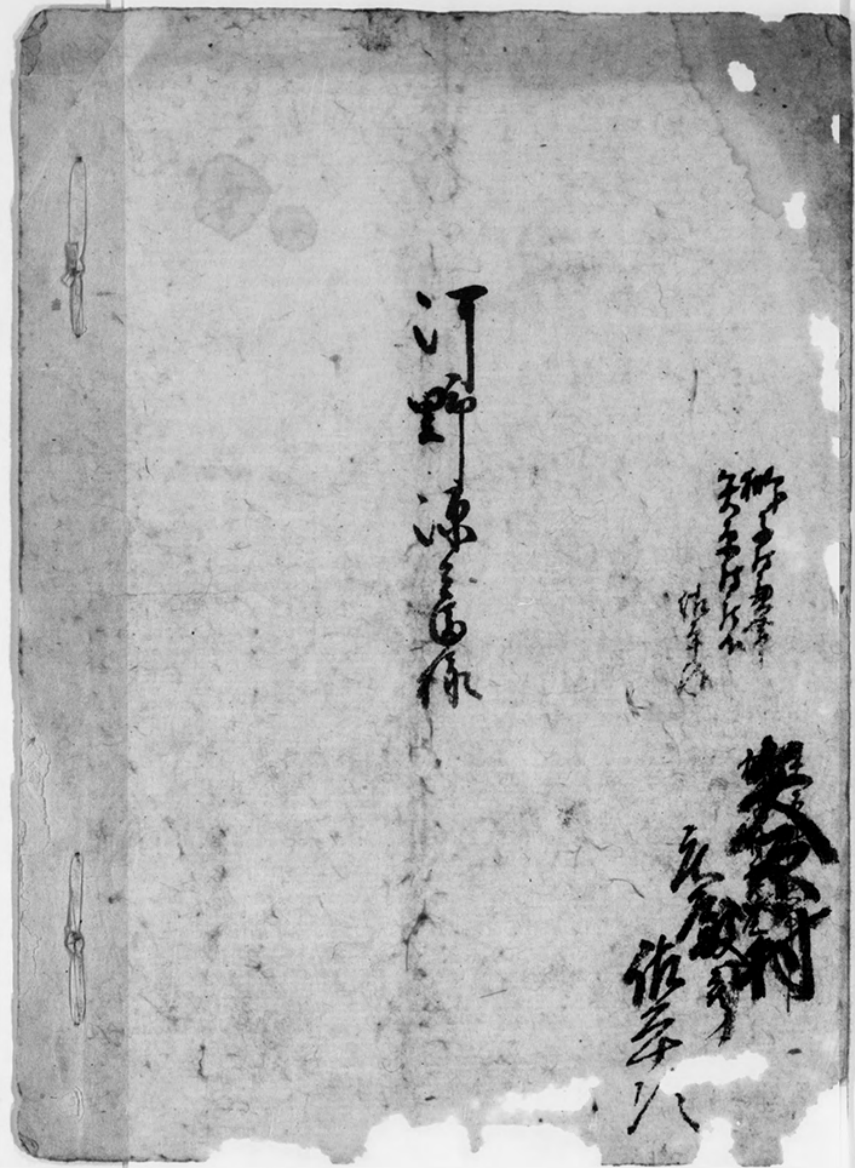
江戸町

御書

江戸町

江戸町

御書



江戸油屋

柳屋  
天保  
五年

柳屋  
佐平